◆韮句会◆

草の絮(わた)吹く少年の眼輝く　吉村幹愛
時々は揉(も)めごともあり鴨の群　岡本かほる
木守柿風のなき日の高きかな　高橋章
句を拾ふ雨の彷徨(さすら)ひ落葉降る　公文春紀
淋しくば月と語らひ木守柿　北村幸子
木々の間に見えて間近や浮寝鴨　西川常夫
鴨を見る高ぶり峡の雨冷えに　甲藤卓雄
白壁の土蔵の鏝絵(こてえ)秋澄めり　野崎典子
埋火(うずみび)の灰こんもりと母の留守　北村里子
日高く眩しさつのる蜜柑山　山中弘子
子に渡す登記が終り冬日和　小野川順子
湖に青空を淹れ秋気澄む　明石英子
綿虫や今日はできると逆上がり　竹内ろ草

◆かがみ野俳句会◆

これ以上無き赫(あか)かっと櫨(はぜ)紅葉　佐竹洋子
竜の玉老の目に手に触れにけり　鍵山和枝
夫病んで留守の間太る大根かな　佐藤幸
木犀の香りに話題も広がりて　利根弘子
熟れ柿の真芯捉え大夕日　古川信子
晴れ渡る紅葉明りの恐山　小松愛子
つわぶきの花の盛りを流れ岸　西内保衛
積りゆく一葉一葉の冬の音　中澤美晴
コンビニも猪汁有りと札吊るし　森本倢代
夕日映え賞金案山子紅奪ふ　山崎鈴子
冬紅葉夕陽憑きたる一樹なり　吉田芳

◆かほく句会◆

海風に変る昼より大根干す　乾真紀子
呆けてはならぬ話しや焚火の輪　奥宮さとみ
鴨の声聴きて亡き父想ひをり　久保貴女
過言より寡(か)言がよろし黄落期　黒岩幸女
冬至湯に確と命を磨きけり　黒岩千英子
小春空次男に買ひし古家かな　小松隆之
山雀(やまがら)を手に寄せ今日のはじまりぬ　小松昇
師の書なる歌碑に佇(たたず)み秋の暮　杉山春萌
和やかに初挑戦の注連(しめ)を綯(な)ふ　西本昶猪
雨後の陽(ひ)の薄きを頒(わ)かち吊し柿　間崎和代
湯に注ぐ焼酎うつた姫迎ふ　前田欣一
山転げ落つ日の眩し大根引く　前田秀女
柔らかに庵の草屋根冬日和　森本之子
日の落ちてがくりと冷ゆる峡の秋　山崎和美
父母の忌の近きを知らす石蕗(つわ)の花　山中明石
冬耕の身ほとりに来る餌つけ鳥　山中晶子
冬帽を被り視線を合はさざり　山中瑞輝

◆土佐山田町俳句会◆

住職の広い額や寒の鮒(ふな)　安丸槙子
山の神の息吹降り来て柚子熟れる　馬場英男
ほろ苦き漢薬舐めて日の短か　橋本昭和
校門の黄落(こうらく)照らす夜学の灯　田村一翠
構内の広き大学草虱(くさじらみ)　明石韮生
そば花田三十五町とへんろ石　中沢としみ
SLが土佐路を走る秋の昼　前田隆明
蝋燭(ろうそく)の炎が尖(とが)り十二月　前田美智子
年金という禄食(ろくは)むか来る年も　大石邦男
藁塚(にお)解いて神に円座を献上す　樫谷雅道

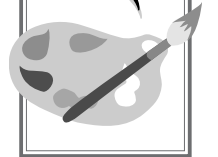
◆投稿作品◆

北山の雲の中よりみぞれくる　和田可代
真夜吹きし風に落葉の溜りおり　北村千鶴子
ジンジンと薬缶の音に年暮るる　岡本朴舟
子と仰ぐ未来永劫冬銀河　山崎貴子
何もせぬ吾にも師走気忙しく　萩野多美子
快方へ大きく晴れて初日の出　高野和一
世界地図なぞるも旅や鳥渡る　前田小夜
掘り役のならべし生姜太鼓腹　福留とものり
奥の院までの磴(とう)かな木の実降る　千頭野草
ワルサする児等の頭上の鰯雲　小原子川
御在所の山の紅葉妻に聞く　小原景守
柚浮かべ冬至に憩う湯の香り　小野寺朱実
老いの歩を止めて仰ぐ初日かな　三谷誠郎
布団干す日向臭さに身を沈め　公文多賀子

俳句・短歌の募集について

▼投稿方法は自由。（ただし、官製ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで五句（首）以内）
▼かい書で、住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。

【投稿先】
企画課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782-8501　香美市土佐山田町宝町1-2-1
（☎53-3114　FAX53-5958）

香美市立美術館 アートの窓

「高知の熱き洋画家たち －あくなき油彩画への挑戦－」

２月３日（土）～２月25日（日）

当館が収蔵している高知の画家の作品から代表作を選び、さらに他美術館や個人蔵の作品も含め、秀作の数々を展示します。

写真の作品は、片木太郎の『海から来た道』です。海へ続く白い道をこちらに歩いてくるのは作者自身の姿でしょうか。片木の風景画には帽子をかぶった人物がたびたび登場してきます。ゆるぎない構成と色彩で描かれた画面は、まるで時間が止まったかのような、ある日、どこかで見た、なつかしい情景が、見る人の心に迫ってきます。この作品を観たいと、わざわざ県外から何度も足を運ばれた方もいらっしゃいます。

明治・大正・昭和と活躍した石川寅治（高知市出身）の一九一四年、第八回の文展出品作品『母の着物』や晩年の大作『造船所』も見ごたえがあります。

その他、〝日本のモネ〟と呼ばれた山脇信德。油彩とあわせて水彩画にも才能を発揮した西岡瑞穗。海外に取材した作品が有名な眞垣武勝。高知の美術界の恩人であり、生涯を画家として画を追究し続けた中村博。〝壺の作家〟と称された中澤竹太郎。〝花〟に秀作を残した福富燊。『踊り子』などの人物像を得意とした山本茂一郎。地元香美市出身の上島一司。芸西村の筒井美術館に作品が多数収蔵されている筒井広道。独特の幻想的な裸婦を描いた高島常雄。現在なお中央画壇で活躍中の奥谷博。

熱き思いで洋画の道を追究した高知の画家たちの作品が一堂に並びます。今回が初展示の新収蔵品（寄贈）も公開させていただきますので、お楽しみください。

会期中の二月四日(日)、二十五日(日)は、十三時三十分より作品解説を行いますので、おさそい合わせてご来館ください。

（館長・北　泰子）

『海から来た道』　片木太郎

吉井勇記念館　投稿作品展

『勇の見た風景展』

猪野々隠棲中の「歌行脚」をはじめ日本各地を旅した吉井勇。勇は旅先で何を思い何を感じたのでしょう。

昨年十一月一日から一月十五日までの募集期間中、「勇の見た風景」をテーマに投稿いただいた作品を展示しています。

「勇」を感じた風景写真や「勇」を思って詠んだ短歌からは、皆さまの思いが伝わってきます。

また、勇が高知で詠んだ短歌も、風景写真とともに紹介しています。

写真と短歌に見える、現在の皆さまの思いと当時の勇の思いを、合わせてお楽しみください。

【展示期間】
2月28日（水）まで

【場所】 吉井勇記念館内休憩コーナー

【開館時間】
9時30分～17時
（入館は16時30分まで）
※火曜日は休館。

【問い合わせ先】
吉井勇記念館
☎58－2220

図書館だより

お待たせしました　コンピューターで貸し出し、返却スタート!!

市立図書館（本館）では、3月1日から図書館情報システムを導入し、コンピューターで素早く貸し出し、返却ができるようになります。また、インターネットを通して市立図書館にどんな本があるのか検索できるシステムになっています。このシステムは、香美市ホームページから利用することができます。館内でも利用者自身が、簡単な操作（タッチパネル）で資料を検索できる画面も備わっています。ご来館いただき、たくさんの方のご利用をお願いします。

ご利用いただくには

☆本を借りるとき、新しい図書利用カードが必要になります。今までに利用者として登録されている方には、3月1日からお渡しします。今後、本を借りるときはこのカードをお持ちください。

☆今までに登録をされてない方は、カウンターで登録申込をしていただくと、貸し出しができます。

☆貸し出しの際に日付、書名、返却日などを印刷したレシートをお渡ししますのでご確認ください。

臨時休館日のお知らせ

システム導入に向けて操作研修のため、2月26日（月）～28日（水）は、市立図書館（本館）をお休みさせていただきます。

2月の読み聞かせ

◆**市立図書館（本館）**
10日（土）、24日（土）
10時45分～
※山田おはなしの会…
絵本を読む会は、奇数月の第3水曜日9時30分から開催。

◆**香北分館**
8日（木）※乳幼児サービス（どんぐりの会）
10時30分～
28日（水）15時30分～

◆**物部分館**
10日（土）、24日（土）
10時～

新着本の紹介　香北分館

【大人向け】
▽心にナイフをしのばせて（奥野修司）▽風の墓碑銘（乃南アサ）▽知識ゼロからの神道入門（武光誠）▽名もなき毒（宮部みゆき）▽代表作時代小説平成18年度（日本文藝家協会）▽英語脳　初級編・中級編（市橋敬三）▽子どもは家庭でじゅうぶん育つ（東京シューレ）▽プロフェッショナル仕事の流儀1リゾート再生請負人他・プロフェッショナル仕事の流儀2アートディレクター他（茂木健一郎他）▽A・R・Iのお菓子の提案（森岡梨）▽雪（オルハン・パムク）▽12番目のカード（ジェフリー・ディーヴァー）▽異常気象売ります上・下（シドニィー・シェルダン）▽現代用語の基礎知識2007▽六地蔵河原の決闘八州廻り桑山十兵衛（佐藤雅美）▽おんぶにだっこ（さくらももこ）▽闇の底（薬丸岳）▽江戸庶民の朝から晩まで（歴史の謎を探る会）▽マネーゲーム崩壊（須田慎一郎）

おすすめの1冊

「子どもは家庭でじゅうぶん育つ」

（東京シューレ/編）

自殺にまで子どもを追いこんでしまっている現代管理社会。心の中まで「評価」対象とする気運に対して、最後の防波堤は家族。学校に固執しないホームエデュケーションで希望と自信を取り戻してゆく子ども達が紹介されている。

玄番隆行さん（香北町永瀬）